



## 平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年4月25日

上場会社名 バリューコマース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2491 URL <https://www.valuecommerce.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者 (氏名) 香川 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 遠藤 雅知 TEL 03-6438-6860  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月9日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	4,677	16.2	827	71.0	821	67.3	551	67.0
29年12月期第1四半期	4,024	△11.0	483	88.9	491	64.2	330	109.9

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 580百万円 (37.3%) 29年12月期第1四半期 422百万円 (143.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	17.12	17.08
29年12月期第1四半期	10.24	-

(注) 平成29年12月期第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第1四半期	11,442	7,330	63.9	226.96
29年12月期	11,679	6,968	59.5	215.73

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 7,310百万円 29年12月期 6,945百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	-	3.00	-	7.00	10.00
30年12月期	-	-	-	-	-
30年12月期（予想）	-	7.00	-	9.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,700	9.0	1,050	16.7	1,050	15.5	710	57.0	22.04
通期	18,800	11.3	2,450	10.2	2,450	8.5	1,670	65.3	51.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期 1 Q	34,471,000株	29年12月期	34,471,000株
② 期末自己株式数	30年12月期 1 Q	2,258,200株	29年12月期	2,275,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期 1 Q	32,203,009株	29年12月期 1 Q	32,254,383株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、企業の業況判断は改善するなか、個人消費に持ち直しの動きが見られ、今後も緩やかな景気回復基調が続くことが期待されています。

堅調に拡大を続けるeコマース市場においては、アドテクノロジーの発展とともに、データ分析とその活用によりパフォーマンス向上を目指すマーケティング手法の需要がますます高まっております。

こうした環境の下、当社グループは、パフォーマンスマーケティングを軸に、eコマースにおける集客からリテンションまでトータルソリューションを提供しております。正しく効率的に情報をつなぐWebプラットフォームであるために、明確な効果測定とデータ分析をベースに、新たなマーケティングソリューションの創出に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、Yahoo!ショッピングのストア向けCRMツールの「STORE's R $\infty$ （ストアーズ・アールエイト）」が好調だったこと、成果報酬型広告の「アフィリエイトマーケティング」及びクリック課金型広告の「ストアマッチ」が堅調だったことにより、4,677,521千円（前年同四半期比16.2%増）となりました。

営業利益は、前連結会計年度において提供終了を決定したサービスに関連する費用減少分を、今後の事業拡大に向けたプロダクト企画・開発及びプロモーションに投下したことにより、全体としては販売費及び一般管理費は前年同四半期並みとなりました。一方、前述の既存サービスが伸長したことにより、827,343千円（前年同四半期比71.0%増）となりました。

経常利益は、営業外費用に持分法による投資損失5,545千円及び投資事業組合運用損7,814千円を計上したことにより、821,681千円（前年同四半期比67.3%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等266,668千円を計上したことにより、551,262千円（前年同四半期比67.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、サービスを提供する顧客属性に合わせ、一般eコマース事業者等向け「マーケティングソリューション事業」とYahoo!ショッピングをはじめとするオンラインモール向け「ECソリューション事業」に報告セグメントを集約・変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ① マーケティングソリューション事業

「マーケティングソリューション事業」は、ウェブサイト上で商品やサービスを販売しているeコマース事業者等の広告主の広告を、ウェブサイトやアプリの広告掲載メディアに配信する事業です。主に、成果報酬型広告の「アフィリエイトマーケティング」を含みます。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「アフィリエイトマーケティング」において、ショッピング、旅行、人材分野等の広告出稿が伸長するなか、今後の事業拡大に向けたプロダクト企画・開発及びプロモーションに注力しました。また、前連結会計年度においてサービス提供を終了したアドネットワークサービスに関連する費用の減少が利益に寄与しました。

この結果、セグメント売上高は3,580,882千円（前年同四半期比9.5%増）、セグメント利益は666,845千円（前年同四半期比7.4%増）となりました。

#### ② ECソリューション事業

「ECソリューション事業」は、Yahoo!ショッピングをはじめとするオンラインモール向けにサービスを提供する事業です。主に、クリック課金型広告の「ストアマッチ」及びCRMツールの「STORE's R $\infty$ （ストアーズ・アールエイト）」を含みます。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「STORE's R $\infty$ （ストアーズ・アールエイト）」及び「ストアマッチ」がともに伸長したことに加え、前連結会計年度においてサービス提供終了を決定した一般eコマース事業者向けCRMサービスに関連する費用の減少が利益に寄与しました。

この結果、セグメント売上高は1,096,639千円（前年同四半期比45.0%増）、セグメント利益は475,698千円（前年同四半期比278.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は11,442,811千円となり、前連結会計年度末と比べて237,025千円減少いたしました。

流動資産は8,563,936千円となり、前連結会計年度末と比べて225,444千円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が144,978千円、受取手形及び売掛金が43,426千円、繰延税金資産が35,991千円減少したことによるものです。

固定資産は2,878,875千円となり、前連結会計年度末と比べて11,580千円減少いたしました。これは、主にソフトウェアが24,490千円、投資有価証券が28,608千円増加したものの、のれんが28,086千円、繰延税金資産が17,673千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は4,111,841千円となり、前連結会計年度末と比べて599,795千円減少いたしました。

流動負債は3,968,760千円となり、前連結会計年度末と比べて599,408千円減少いたしました。これは、主に買掛金が31,909千円、賞与引当金が60,568千円増加したものの、未払金が276,604千円、未払法人税等が303,311千円減少したことによるものです。

固定負債は143,081千円となり、前連結会計年度末と比べて387千円減少いたしました。これは、主に長期預り保証金が400千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は7,330,970千円となり、前連結会計年度末と比べて362,770千円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が剰余金の配当により225,367千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により551,262千円増加したことによるものです。

2. キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は4,857,533千円となり、前連結会計年度末と比べて144,978千円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は135,375千円（前年同四半期は460,884千円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が817,930千円であり、プラス要因として、減価償却費が55,218千円、のれん償却額が28,086千円、売上債権の減少額が43,426千円、仕入債務の増加額が31,909千円であったものの、マイナス要因として、未払金の減少額が278,314千円、法人税等の支払額が501,141千円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は66,653千円（前年同四半期は160,477千円の使用）となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出が65,854千円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は213,317千円（前年同四半期は213,425千円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額が221,373千円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年1月30日の「平成29年12月期 決算短信」で公表いたしました平成30年12月期の連結業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の修正が必要となった場合には、直ちに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,002,511	4,857,533
受取手形及び売掛金	2,619,995	2,576,568
繰延税金資産	86,619	50,628
未収入金	1,015,107	1,018,115
その他	66,766	62,741
貸倒引当金	△1,620	△1,652
流動資産合計	8,789,380	8,563,936
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	205,533	202,098
工具、器具及び備品（純額）	94,623	87,738
有形固定資産合計	300,157	289,837
無形固定資産		
ソフトウェア	522,860	547,351
ソフトウェア仮勘定	68,375	60,372
のれん	337,043	308,956
その他	10,406	10,663
無形固定資産合計	938,686	927,344
投資その他の資産		
投資有価証券	1,358,526	1,387,134
差入保証金	243,755	243,755
繰延税金資産	40,069	22,395
その他	9,262	8,409
投資その他の資産合計	1,651,613	1,661,694
固定資産合計	2,890,456	2,878,875
資産合計	11,679,837	11,442,811

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,912,280	1,944,189
未払金	1,728,844	1,452,239
未払法人税等	547,636	244,324
賞与引当金	—	60,568
その他	379,406	267,436
流動負債合計	4,568,168	3,968,760
固定負債		
長期預り保証金	68,177	67,777
その他	75,291	75,304
固定負債合計	143,468	143,081
負債合計	4,711,637	4,111,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,728,266	1,728,266
資本剰余金	1,123,448	1,129,990
利益剰余金	4,510,892	4,836,786
自己株式	△555,407	△551,160
株主資本合計	6,807,199	7,143,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138,599	167,717
為替換算調整勘定	△338	△605
その他の包括利益累計額合計	138,260	167,111
新株予約権	22,739	19,975
純資産合計	6,968,199	7,330,970
負債純資産合計	11,679,837	11,442,811

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	4,024,328	4,677,521
売上原価	2,821,664	3,128,304
売上総利益	1,202,663	1,549,216
販売費及び一般管理費	718,933	721,873
営業利益	483,730	827,343
営業外収益		
持分法による投資利益	15,140	—
その他	5,329	7,841
営業外収益合計	20,470	7,841
営業外費用		
持分法による投資損失	—	5,545
投資事業組合運用損	13,022	7,814
その他	—	144
営業外費用合計	13,022	13,503
経常利益	491,178	821,681
特別損失		
減損損失	—	3,750
アフィリエイト報酬精算損	5,399	—
特別損失合計	5,399	3,750
税金等調整前四半期純利益	485,778	817,930
法人税、住民税及び事業税	170,464	225,853
法人税等調整額	△14,877	40,814
法人税等合計	155,586	266,668
四半期純利益	330,191	551,262
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	330,191	551,262
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	91,236	29,117
為替換算調整勘定	152	△266
持分法適用会社に対する持分相当額	1,014	—
その他の包括利益合計	92,403	28,850
四半期包括利益	422,595	580,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	422,595	580,113
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	485,778	817,930
減価償却費	75,594	55,218
のれん償却額	43,333	28,086
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△447	31
受取利息	△24	△30
為替差損益(△は益)	949	114
持分法による投資損益(△は益)	△15,140	5,545
投資事業組合運用損益(△は益)	13,022	7,814
減損損失	—	3,750
売上債権の増減額(△は増加)	△1,090	43,426
仕入債務の増減額(△は減少)	27,380	31,909
未収入金の増減額(△は増加)	△23,611	△3,008
未払金の増減額(△は減少)	△247,177	△278,314
預り保証金の増減額(△は減少)	△1,399	△400
その他	157,678	△75,589
小計	514,846	636,486
利息の受取額	24	30
法人税等の支払額	△53,986	△501,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	460,884	135,375
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,461	△799
無形固定資産の取得による支出	△119,842	△65,854
投資有価証券の取得による支出	△34,173	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160,477	△66,653
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	—	8,056
自己株式の取得による支出	△149,967	—
配当金の支払額	△63,457	△221,373
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213,425	△213,317
現金及び現金同等物に係る換算差額	217	△381
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	87,199	△144,978
現金及び現金同等物の期首残高	3,600,263	5,002,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,687,463	4,857,533

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 3
	マーケティング ソリューション 事業	ECソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,269,678	754,650	4,024,328	—	4,024,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,802	1,802	△1,802	—
計	3,269,678	756,453	4,026,131	△1,802	4,024,328
セグメント利益	620,936	125,852	746,788	△263,057	483,730

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△1,802千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△263,057千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション 事業	ECソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,580,882	1,096,639	4,677,521	—	4,677,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,580,882	1,096,639	4,677,521	—	4,677,521
セグメント利益	666,845	475,698	1,142,543	△315,200	827,343

(注) 1. セグメント利益の調整額△315,200千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、サービスを提供する顧客属性に合わせ、一般eコマース事業者等向け「マーケティングソリューション事業」とYahoo!ショッピングをはじめとするオンラインモール向け「ECソリューション事業」に報告セグメントを集約・変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。